

3月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

259,379円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代) 事後精算	11,760円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	15,823円
通信費(携帯電話代、折込代)	227,449円
支出計 11/3/1~11/4/10	259,379円
寄付	
Yさん	5,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
11/4/11

第118号

16000部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

新年度予算成立!?

子ども手当と生活保護増で民生費大幅増!?

2011年度予算は、3月24日の本会議で、賛成多数で可決されました。

歳入面では、世界的な経済危機により、引き続き市税収入が落ち込む(-0.8億円、前年予算比-0.26%) 見込みです。図1の義務的経費は04年度を除きほぼ横ばいでしたが、図2内訳のとおり、扶助費は、増え続ける生活保護に昨年度から子ども手当が加わり、前年比13.1%増加しました。人件費は定年退職者数が昨年度の半分以下となることもあり-4.9%となっています。

投資的経費は、かろうじて0.6%増となりましたが、図1に示す通り最低レベルです。

■2011年度予算規模

一般会計 582億0000万円 (+1.2%)

特別会計 611億6500万円 (+1.3%)

競輪、天守閣、下水道、国保、国保診療施設、公設市場、後期高齢者医療、介護保険、宿泊等施設、公共用地取得

企業会計 173億5227万円 (+7.4%)

水道事業、病院事業

全会計 1367億1727万円 (+2.0%)

■一般会計予算の特徴

主な歳入

(1)市税 319億4123万円(-0.3%)

(2)地方交付税 8億5000億円(1700%)

(3)市債(借金) 30億5550万円(-8.1%)

うち臨時財政対策債 22億0000万円(-21.4%)

臨時財政対策債：国の地方交付税特別会計の財源が不足したため、地方交付税の交付額を減らし、その穴埋めに、市に地方債を発行させる制度。市が借金をする形式をとり、返済は後年度の地方交付税で措置される。いくら借りるかは市の裁量。

歳出

(1)投資的経費：道路、施設等整備

38億0903万円(+0.79%)

(2)義務的経費：必ず支払わなければならない経費

人件費+扶助費+公債費

328億1214万円(+3.3%)

うち人件費 111億3748万円(-4.9%)

扶助費 150億3411万円(+13.1%)

公債費(借金返済) 66億4056万円(-1.7%)

扶助費：生活保護、障害者支援、保育所運営、医療費助成等

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)

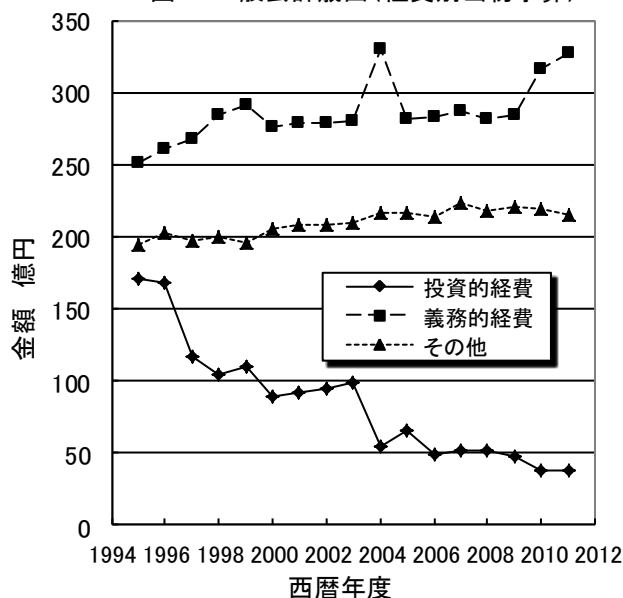
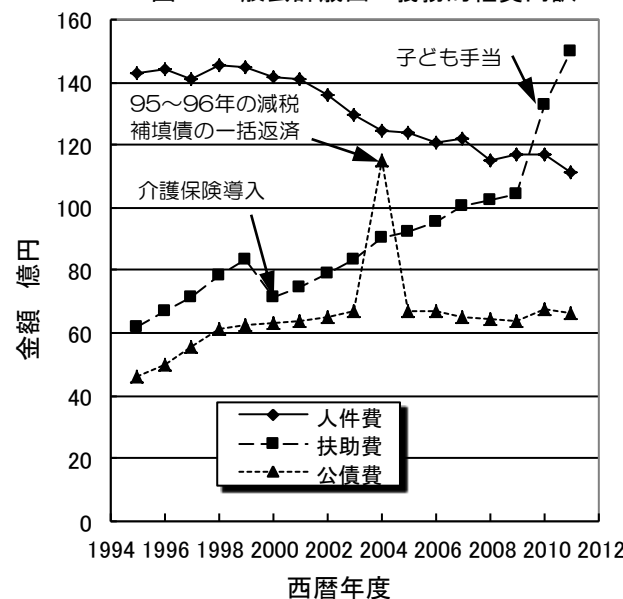


図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



■一般会計の主な事業の予算額

11年度の特徴的な予算を以下に列記します。図3は、主な費目別歳出の推移を示します。(変化の少ない費目は省略しました。)特徴は民生費の大幅増と総務費(総合計画及び自治基本条例の検討終了)の減額です。

民生費

- 子ども手当給付事業：34億1468万円
3歳未満2万円、中学校修了前まで1万3千円を給付
- 小児医療費助成事業：4億0045万円
小学校就学前を小学校3年修了まで無料化

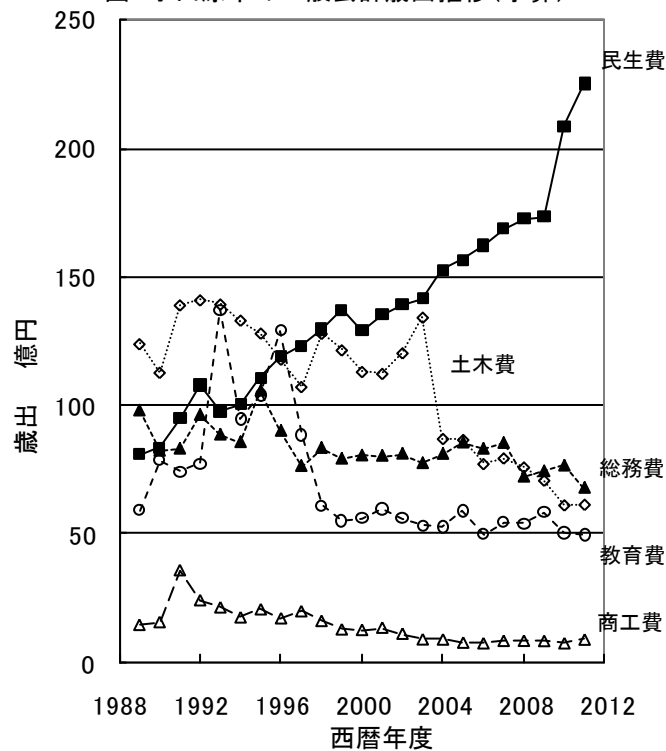
教育費

- 御用米曲輪の史跡整備：5393万円
観覧席、バックネットの撤去、発掘調査、修景整備
- 小中学校扇風機、幼稚園空調設備設置：2282万円
小中学校の普通教室に扇風機を、幼稚園遊戯室にエアコン設置

総務費

- 地下街再生事業：約5000万円
施設構成の検討、基本計画、運営管理・テナント計画等、環境デザイン策定や設計と件の検討等、詳細な事業計画を策定
- 新総合計画策定事業：終了
- 自治基本条例策定事業：終了
予算の修正動議により施行日を4/1から来年1/1に修正

図3小田原市の一般会計歳出推移(予算)



The Voice これまでに頂いたご意見から

万全の津波対策を 海岸住民

相模湾で、東日本大震災が起きた場合、津波対策について市長も見直しが必要とコメントしています。**大きな階層建物への避難が有効**ですが、高齢者など従来の避難場所（体育館では意味がありません。校舎の開放が必要です。）では時間がかかります。**民間の高層建物などの協力依頼を確保**することができないのか、早急に対策して住民に周知してください。

まず、今回のような巨大津波が、小田原方面に向かって起こる可能性があるかについて私の見解をお伝えします。巨大津波は一般にプレート境界で発生します。小田原の場合、神縄国府津松田断層（フィリピン海プレートと北米プレートの境界）は、海底では、国府津海岸から房総半島に向かって伸びています。そのため津波が発生したとしても、鎌倉、逗子、葉山方面とその向かいの真鶴熱海方向に向かうことが、シミュレーションや歴史上の分析でも明らかです。その一方、千代廃寺や国府が移転した理由は、地震による建物の倒壊や、多くの圧死が発生したことによるものとの記述があります。こうしたことから、私は、小田原は巨大津波に備えるよりも、**直下型地震に対応し、建物の耐震性を上げ、家具類などの確実な転倒防止**をすることが、まず必要だと思います。

津波の場合の校舎への避難ですが、児童生徒が優先ですが、ガラスを破れば、最上階までは避難できます。

民間の高層建築物などの協力の件ですが、マンションの場合は管理組合との協議で対応が異なると思います。またオートロックのマンションでそれが可能なのか？、避難した後に、建物火災が発生した場合どうなるか(階段やエレベーターが煙突になってしまう。)、避難住民数に対して圧倒的に避難できる数が少ないなど、市が住民に周知するには、あまりにも問題点が多いと考えています。従って、早急に対策して住民に周知することはできたとしても、実効を伴うものになるかは別問題です。なお、**当然、想定を超える津波に対する対策は検討実施します。**

お知らせ

市議会議員選挙は4月24日

公選法の規定により

- ・個人の寄付：受領できます。
5万円以上は、収支報告書に氏名記載します。
- ・会社名の寄付：受領できません。
- ・酒類：受領できません。

選挙事務所 国府津2505 (4/17～)

Tel 44-4160 Fax 44-4161

巡礼街道イヨダさんの2軒西側です。

- ・出陣式は、行いません。

月刊武松・月例勉強会

5月は、都合により中止します。

武松 忠のプロフィール

- ・昭和40年8月9日 市内国府津生まれ
- ・市立国府津小学校、国府津中学校卒
- ・県立西湘高等学校卒
- ・東京職業訓練短期大学校電気科卒
- ・昭和61年4月 日本真空技術(株)入社
ロボット等の開発を担当
- ・平成11年4月 小田原市議会議員初当選
- ・平成11年6月 日本真空技術(株)退社
議員活動に専念
- ・平成15年4月 小田原市議会議員2期目当選
- ・平成19年4月 小田原市議会議員3期目当選
- ・小八幡在住 家族5人(妻、長男:大学生、長女:高校生、次女:中学生)
- 役職・副議長(平成20年度) ・監査委員(平成22年度)

